

# 政策科学部

College of Policy Science | Ritsumeikan University





### 政策科学科

政策科学専攻 / Community and Regional Policy Studies 専攻

#### 取得学位

学士 (政策科学)

#### アドミッション・ポリシー

政策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しています。こうした学びにチャレンジする学生を求めていることから、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。

- 1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること
- 2 それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること
- 3 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること



学部 HP



# 21世紀を生きる新しい学問 それが政策科学

政策科学部は1994年に設立されました。現在国内の政策系学部・学科・専攻は80以上ありますが、「政策科学部」と称するのは立命館大学のみです。なぜ政策科学という名にこだわるのか？それは、政策科学という新しい学問を探究していくからです。人文・社会・自然科学を問わず、学問の世界では細分化が進んでいますが、これでは21世紀の日本や国際社会が直面する複雑な問題には対処できません。既存の学問の壁を乗り越えた視点から、問題を発見し、現状を分析し、政策を提言する力が必要になります。そのためには、複眼的で多角的な視野が求められます。政策科学部では、こうした視野で学術的な調査、分析、提言のできる人材の育成を目指しています。このような視野の獲得には、国内外のさまざまな課題に直面し、課題の解決に取り組んでいる人々と知識や知恵を共有し、問題の原因・背景を深く掘り下げることで、有効な解決策を導き出す実践的な学びが不可欠です。

21世紀に入り、さまざまな分野と次元でグローバル化が進んでいます。政策科学部にはカリキュラムが全て英語で行なわれるCommunity and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻が用意されており、さまざまな国や地域の学生が集まったCRPS開講科目を履修することができます。また、英語以外のヨーロッパ言語とアジア言語(計10語種)を学ぶことができます(LGA / Languages for Global Actions科目)。社会的に解決しなければならない課題は、国内外の至るところにあります。政策科学という学問的営み、政策科学の視野は、国境を越えて広がります。



### Student's Voice /

#### グループワークの多彩な活動のなかで壁を乗り越えた体験が、私を変えた。

これまで受けた中で最も印象的な授業は、共通のテーマを持つメンバーとともにテーマ設定から先行研究の分析調査、そしてレポートにまとめるまでをグループワークで進める「研究実践フォーラム」という2回生配当の小集団科目です。私たちのグループは地域コミュニティや災害意識に興味関心を持つメンバーが多かったため、「自助・共助・公助」のうち「共助」に絞って研究テーマを設定しました。調査の成果はクラスや学年全体の前でのプレゼンテーションと質疑応答を重ねることで内容をさらに深めていきます。

この授業を通して身に付いたと感じるのは、リーダーシップです。グループワークにおいては、誰かがその中心となって話し合いを進める必要があります。その舵取り役を担い話し合いを重ねる中で、全体の意見をまとめる力が高まりました。また、伝える力についても向上したと感じて

います。私はもともと話すことが得意ではなかったのですが、授業の中で頻繁にプレゼンテーションを行うことで苦手意識が薄れ、徐々にうまく話せるようになりました。グループワークやプレゼンテーションが組み込まれた科目だったことで、研究手法を学ぶだけでなく、苦手を克服して成長することができたと感じています。

入学前の予想を超えて多様な分野の学びに触れることで関心が広がり、将来の目標はまだ絞り切れていませんが、正課外では英語外部資格試験TOEICのスコアアップにもチャレンジしています。今後より一層グローバル化が進む社会において英語力を高めることの必要性を感じ、自発的に取り組んでいます。スピーキングも含めて力を付けられるよう、継続的に学習していきたいと考えています。



岡田 浩亮 さん

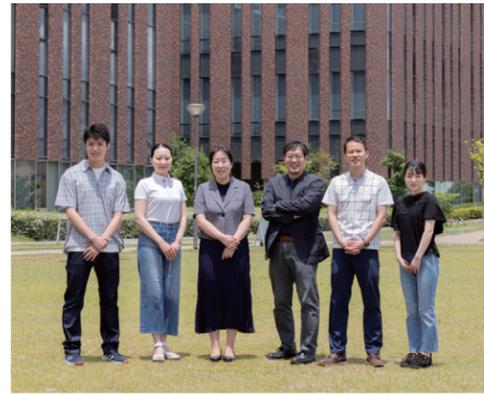
政策科学部 政策科学科 3回生  
愛知県立時習館高校出身

# 政策科学部って どんな学部?

環境開発系、公共政策系、社会マネジメント系、それぞれの系列の先生方が教員と学生の距離が近い政策科学部ならではの魅力を語ってくれます。

政策科学部で自分のやりたいことを見つけた卒業生、また4回生の先輩学生からも政策科学部の学びの特色である3つのキーワードに沿った声が届いています。

#01 グローバルに学ぶ #02 実践的に学ぶ #03 研究発信力を身につける



## Faculty's Voice

### ゼミ活動を通して 成長した学生がたくさんいます

私の研究分野の1つに野生動物管理があります。クマと人が共存する地域づくりには、クマの頭数調査だけではなく、地域住民のクマに対する考え方なども理解したうえで、実現可能な政策提案をすることが必要。社会科学や生態学などさまざまな学問の知見を駆使して問題解決をはかるのが政策科学の研究です。私のゼミでは環境問題に関するテーマについて全員でフィールド調査を行っています。これまでに、農業振興を目指す住民との協働プロジェクト、瀬戸内海の中学校との共同学習プログラムなどを行いました。高いコミュニケーション能力も求められるこれらの活動を通して成長した学生がたくさんいます。学術的に価値の高い卒業論文を執筆して英国の大学院に進学した学生、環境教育や野生動物管理の専門家になった学生、カエルが大好きだった学生は今、国際機関で生物保全の政策立案を担っています。私自身も学生の姿から多くのことを学び、共に成長しています。

### 少人数教育で、社会に必要な スキルをしっかりと身につけます

現代社会の複雑な問題に対し、複数の学問領域を組み合わせ、よりリアリティのある解を得るための学際的なアプローチを行う、それが政策科学部の学びです。小人数教育で基礎から段階的に専門性を高め、社会に必要なスキルをしっかりと身につけられるのが特徴。私のゼミでは、クリティカルアナリティクスという独特のディベートトレーニングによって、問題を発見するための基礎となる批判的思考を徹底的に鍛えています。その成果を香港民主化運動の周庭さんとのオンラインディベートなどで積極的に発信しています。政策科学部では、自分の考えを表現する機会が数多くあります。フィールドワークに出て、国内外の現場で問題に取り組む人たちと直接話し、時には一緒に動く機会もあります。こうした緊張感ある現場経験の場数を多く踏むことによって、劇的に成長する学生の姿を私は何度も見てきました。学びを通して彼らは大人になり、社会に羽ばたいていきます。

### 地域現場の現実も見ながら 実践レベルの政策を構想します

幅広い分野の科目が提供されているため、特定分野の学びを深めることも、広く基礎を学んでから興味ある分野の学びを深めることもでき、さまざまな可能性が広がっているのが政策科学部の魅力の1つです。座学で学んだ社会科学の基礎をもとに現場での実践を行い、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックしながら学びを深めていくのが特徴。私のゼミでは、地域経済のさまざまな問題やまちづくりなどのテーマについて、経済学の視点からアプローチし、理論・地域統計データの分析・地域現場での調査という3つの側面からどのような政策が必要かを考えています。ゼミ合宿では、地域の現場を見てヒアリングなどを行う経験を通して、政策を構想する際の現実的な問題についても深く考えることができるようになります。さまざまな社会問題が存在する中、あなたは何に関心があるでしょうか。よりよい社会を創るための学びに、一緒に取り組んでいきましょう。

環境  
開発系



桜井 良 准教授

[専門分野]  
保全社会科学、環境教育、プログラム評価

公共  
政策系



上久保 誠人 教授

[専門分野]  
政治学・国際政治経済学

社会  
マネジメント系



坂西 明子 教授

[専門分野]  
地域経済学・労働経済学

## Student's Voice

### 留学生のサポート団体を立ち上げ、活動を通して英語力も向上。

政策科学部の学びに「正解」はありません。先生方の意見や考えを聞き、本を読み、データを集めた結果、自分はどう考えるのか。「自分で考える力」を身につけられる学びです。留学生が英語で学ぶCRPS専攻の授業を履修したことも印象に残っています。多様なバックグラウンドを持つ留学生とディスカッションし、自国の制度を紹介し合うのは貴重な経験でした。その後私は、留学生が課外活動に参加しづらい状況を改善しようと、同じ思いの留学生と「Global

Supporters」という団体を立ち上げ、通訳や課外活動参加のサポートを行っています。活動を通して英語力も向上し、さまざまな国の留学生と一つの目標に向け行動することもできました。卒業論文のテーマは「日本語と英語の謝罪表現の違い」。文化や慣習の違いからコミュニケーションに誤解が生まれないよう、日本語と英語それぞれの謝罪表現の特徴や違いを明らかにしたいと考えています。



山川 紗世 さん

政策科学部 政策科学科 4回生  
大阪市立東高校出身

### 幅広く学んで経営学に関心。卒業後は海外の大学院を志望。

幅広い領域を学べるのが政策科学部の面白さの一つです。入学時、学びたい領域が決まっていなかった私は、さまざまな授業を学際的に学んでいました。幅広く学んだおかげで1つの物事に対して複数のアプローチを考えられるようになったと感じています。すでに専門領域を決定した友達から深い知識を得たり、未決定の友達と悩みを共有し合ったりするものも学部ならではの良さだと思います。

3回生で経営学に興味を持った私は、以後、

経営学の領域を深く学ぶようになりました。立命館アジア太平洋大学 (APU) への交換留学中も、英語で行われる経営系科目を受講。他に日本人がいないのが当たり前でグループワークも行い、英語や異文化理解の力、経営に関する知識を深めることができました。今後も、世界的企業の戦略やマーケティングについて学びを深め、専門性を高めたいと考えています。卒業後の希望進路は海外大学院への進学。現在、英語で卒業論文を執筆中です。



長岡 佑真 さん

政策科学部 政策科学科 4回生  
大阪府立池田高校出身

### 大学で挑戦したことすべてが私の成長を加速させてくれた。

入学時は目的が漠然としていたので、周りの人が語る夢を聞いては焦り、気になる科目を片っ端から履修していました。物事を考える際の、情報を集める範囲の広さ、考察する視点の多様さ、異質なものを受け容れる寛容さは、幅広い科目を履修してきたからこそ身についた私の強みだと感じています。

大学で挑戦したことすべてが、自分の成長を加速させてくれました。公務員養成プログラム「立命館霞塾」、国際社会で活躍する人材養成

プログラム「オナーズ・プログラム」では、他学部生や卒業生との交流によって多くの経験や人のご縁も得ることができました。米国企業を買収したベンチャー企業でのインターンシップでは、日米の企業体質の違いやデジタル化への世界基準の取り組みを体感することもできました。政策科学会学生委員会の活動にも取り組んでいます。より良い社会づくりに貢献できる人になるため、今後も成長を止めない努力を続けたいと思います。



治川 可南子 さん

政策科学部 政策科学科 4回生  
兵庫県・百合学院高校出身

## Message / 卒業生からのメッセージ

### ゼミ活動が、話す力と未知の世界に飛び込む力をつけてくれた。

あらゆる場面で人々を支え、その成果を自分の生活の中で確認できる点に魅力を感じて国土交通省を志望しました。大学では、ゼミ活動を通して自分の言葉で話す能力を磨き、未知の世界に飛び込む力をつけることもできました。立命館の魅力は入試の種類による学生の多様性だと私は考えています。学力、スポーツをはじめさまざまな分野において秀でた人と共に学び、未知の世界に触れられるのは楽しく、また貴重な経験でもあります。

#### 大塚 駿 さん

国土交通省 (政策科学部 2022年卒業)  
千葉県立長生高校出身

2018年、政策科学部入学。上久保ゼミでは、働き方の改善に関して労働状況の実地調査などを行う。焼肉店でのアルバイトを通してさまざまな境遇の人と接し、それまでは持ち得なかった新たな視点を得る。2022年、総合職として国土交通省入省。



# 学びの特色

## 社会の問題について深く考え、政策構想力・実践力を身につける。

政策科学とは、社会における問題の原因を明らかにし、多様な利害関係者の立場を考慮しながら最善の解決策を提示する「問題解決型の学問」です。政策科学の研究では、問題の本質を見極め、解決策を提示することが重要です。そのため、社会科学の基礎を幅広く学び、現場で実践し、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックして学びを深めます（政策科学部ではPBL (Project / Problem - Based Learning) 型実践教育を取り入れています）。また、豊かな経験と役立つスキルを駆使して研究を推進する政策実践力と、さまざまな情報を収集し大局的な視点から将来ビジョンを描ける政策構想力を身につけます。

### 学際的な学び

#### さまざまなバックグラウンドを持った教員

政策科学部は、社会科学分野だけでなく、自然科学、環境、都市計画、経済・経営学、福祉、政治・ガバナンス、法学などさまざまなバックグラウンドを持った教員で構成され、多角的視野で問題解決へのアプローチを実践すると共に、学生の皆さんが興味関心を持ったさまざまな分野に対応できる体制となっています。



### 実践を通じた学び

#### 科学的な調査・分析能力を身につけて、研究に活用する〈分析技法の修得〉

政策課題や政策争点の背景にある社会状況を分析したり、問題解決のために必要な政策案の効果を予測したり、過去に実施した政策の効果を測定したりするためには、科学的な分析技法や調査方法の修得が必要になります。政策科学部では、情報機器やソフトウェアの基礎的スキルはもちろん、より高度な情報処理の技法を学び、調査・研究・政策分析に活用できる力量を育成する科目を用意しています。

#### 実践を通じて政策科学の視点を学ぶ〈PBL (Project / Problem-Based Learning) 科目〉

政策科学部では、社会科学を中心とする諸科学の基礎を総合して、海外を含むフィールド（現場）で実践し、そのプロセスで得た知見と理論を交互にフィードバックすることで学びを深めていく、PBL (Project / Problem-Based Learning) を重視しています。1回生時にPBLの基礎となる批判的思考力や論理的表現力などを修得します。2回生時には企業や行政機関、NGOなど政策課題に取り組む現場で、学生が自主的にグループを組んで研究の素材や方法、課題を見つけ出し、調査活動を実施します。フィールド調査を重視し、学外の資料を閲覧したり、実社会で活躍する個人や団体と接触したりすることで、政策現場の体験を学びに取り込みながら解決策を模索します。これらの経験を礎として3回生での「政策構想演習」（ゼミナール）、4回生での「学士論文」を通じて卒業論文の執筆に取り組み、政策構想力と政策実践力を涵養し修得することを目指します。



タイプロジェクト



台湾プロジェクト

[2022年度「研究実践フォーラム」実施特定プロジェクト(2回生担当科目)] (予定)

中国、タイ、日韓相互理解、信州安曇野、フィリピン、日台共通課題研究

#### 少人数グループで調査研究を進め、その成果を競い合う〈PSアカデミック・フェスタ〉

政策科学部では、学生が小集団に分かれてその研究成果を発表する機会を豊富に設けています。なかでも12月に行われる「PSアカデミック・フェスタ」では、各回生に配置されたプロジェクト科目やゼミナールの最優秀グループの発表やコンペティションなどが行われます。発表の内容はもちろん、政策を実現に導くためのプレゼンテーション能力、グループのチームワークも試され、政策科学部の一年の学びの集大成となるイベントです。



#### 2021年度 PS アカデミック・フェスタ受賞テーマ（一部抜粋）

- 3・4回生「政策構想演習」「学士論文」CRPS専攻「Policy Seminar」最優秀賞、優秀賞
- Green Attributes in Young Consumers' Purchase Intentions: A Cross-Country, Cross-Product Comparative Study Using a Discrete Choice Experiment
- 日本におけるヤングケアラーの現状と課題—社会で支える必要性—
- 2回生「研究実践フォーラム」最優秀プロジェクト
- 福祉系プロボノによる避難所支援の現状と課題
- 1回生「プロジェクト入門」最優秀賞
- イデオロギーの形成に対するフィルターバブルの影響に関する研究
- CRPS専攻1回生「Introduction to Academic Research」最優秀賞
- Empowering the poor and meeting housing needs by community-driven upgrading projects in low-income settlements in Bangkok, Thailand.

## 国際的な学び

### 2つの専攻

政策科学部では、政策科学専攻（日本語基準）とCommunity and Regional Policy Studies (CRPS) 専攻（英語基準）があります。CRPS専攻では、さまざまな国や地域の学生が集まりそれぞれの国や地域が抱える諸課題を共有しながら学びを深めていきます。日本語基準学生も一定の語学基準があれば受講することができ、グローバル・ダイバーシティな環境を提供しています。



### 多言語を学習し、言語バリアを意識しないバイタリティを身につける〈外国語教育〉

政策科学部の外国語教育は、チャレンジ精神を持ち、英語を含む複数言語を用い、世界で活躍できるグローバル人材の育成を目指しています。最近では、英語でのコミュニケーションを基礎として、現地語でのコミュニケーションがとれることも重要な要素となりつつあります。政策科学部では、英語で政策科学を学ぶ科目「政策英語科目 (EPS)」と英語以外の初修外国語としての科目「グローバル言語科目 (LGA)」を設置しています。EPS科目では、講義を英語のみで行う科目や、講義を通して公表に値する英語の成果物を作成する科目があります。また、LGA科目では、5つのアジア言語 (Chinese, Indonesian, Korean, Thai, Vietnamese) と5つのヨーロッパ言語 (French, German, Italian, Russian, Spanish) の科目を開講しており、いずれの言語も政策実践の現場に関わる実用言語・教養言語として学びます。

※語種により開講科目数は異なります。

### 国際的視野の獲得

政策科学を学ぶうえで多角的視野は不可欠です。政策科学部では、国際的視野を獲得するためのカリキュラムを4年間の学びの中に組み込んでいます。

政策科学部では、

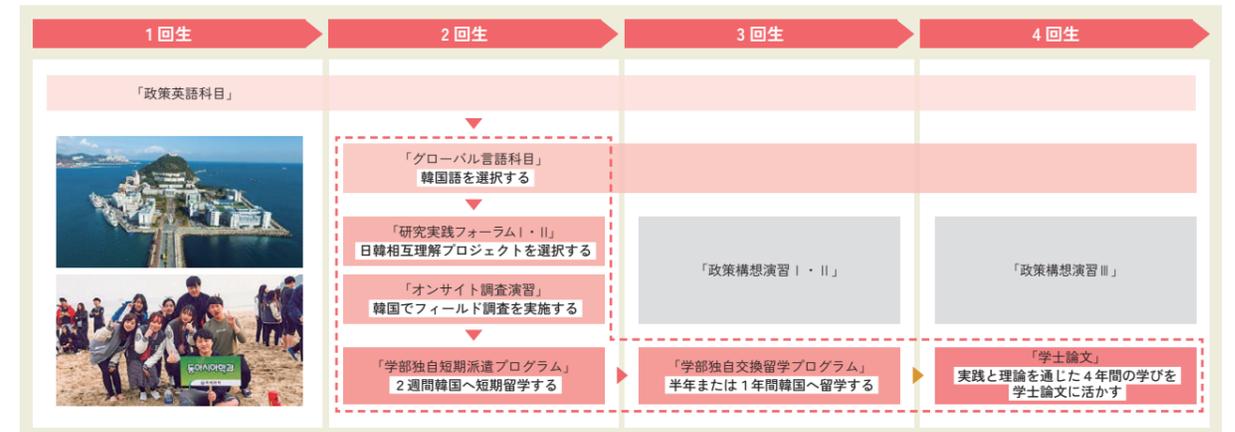
- ◆ 英語を学ぶのではなく、英語で政策科学を学びます（政策英語科目 (EPS)）。
- ◆ 英語以外の言語については、10語種から学ぶことができます（グローバル言語科目 (LGA)）。
- ◆ 海外フィールドワークを2回生演習科目（「研究実践フォーラム」「オンサイト調査演習」）で実施しています。
- ◆ 言語科目・演習科目と連動した学部独自留学プログラム（2週間・半年間・1年間）を提供しています。言語・フィールド・留学を有機的に積み上げながら政策科学を学ぶことができます。

その他に、

政策科学部の英語基準コース生（CRPS専攻生）と交流しながら学ぶ科目（「Cross Border Policy Issues」）もあります。英語運用能力が一定基準を満たせば、CRPS専攻科目（英語基準）を受講して要卒単位に含めることができます。



[国際的視野を獲得するための学修モデル]



# 4年間の学び

回生	1回生【発見】	2回生【調査】	3回生【探究】	4回生【発信】
学びの流れ	多角的な視点を養う			
学びの流れ	フィールドワークで現場を調べる		ゼミナールで興味のあるテーマを探る	学びの成果を社会へ発信する
学びの流れ	全学共通科目のうち政策科学部が認めるもの			
学びの流れ	ビジョン特殊講義			
情報技法科目 (IM) Information and Methods	政策情報処理 統計学 プログラミング フィールド調査法	調査分析技法入門 情報科学入門 データ分析	社会調査法 ゲーミング & シミュレーション	地域空間分析 情報技術マネジメント
政策科学基礎科目 (MP) Meta-policy	政治学 I・II 現代経営学入門 サステイナビリティ学入門	公共政策 ミクロ経済学入門 政策工学入門 まちづくり入門	憲法 政策過程論 環境科学 国際学入門	政治過程論 マクロ経済学入門 公共哲学 政治文化論
グローバル言語科目 (LGA) Language for Global Actions	LGA 特殊講義 LGA 入門 LGA Special Seminar	○●・基礎1 ○●・基礎2 ○●・展開1 ○●・展開2	○●で学ぶ文化・社会1 映像・CALLで学ぶ○●1 ○●・異文化コミュニケーション1 ○●で学ぶ文化・社会2 映像・CALLで学ぶ○●2 ○●・異文化コミュニケーション2	
	※○●には、Chinese, Korean, Vietnamese, Thai, Indonesian, French, German, Spanish, Russian, Italian 各言語名称が入ります。 ※「○●で学ぶ文化・社会」及び「映像・CALLで学ぶ○●」は全ての語種で開講されるものではありません。			
公共政策		民法 I・II 国際機構論 比較文化論 情報社会論 グローバルガバナンス 国際学入門 Policy Science Reading I	行政法 I 日本政治史 政策評価 日本と東南アジアの地方自治体 国際公共政策 国際政治経済論	行政法 II 行政学 I・II 政治意識論 Policy Science Reading IV
社会マネジメント		財政学 雇用政策論 非営利組織論 比較福祉社会論 国際経済学 社会保障政策 マーケティング政策論 Policy Science Reading II	公共経済学 コミュニティ福祉論 戦略経営論 都市経済論 開発経済論 金融論 経済政策 企業組織論	消費者行動論 ビジネスプラン パブリック・マネジメント論 地方財政論 社会的企業論 戦略分析 Policy Science Reading V
環境開発	減災政策	都市計画 都市マネジメント論 環境経済学 資源エネルギー論 コミュニティ政策論 国際環境政策 Policy Science Reading III	住宅政策論 エコライフ政策 都市景観論 地域デザイン調査 計画理論 政策分析	コミュニティ防災論 システム科学 環境社会学 戦略的環境アセスメント 環境経営論
公共政策・社会マネジメント・環境開発系共通演習実習特講	政策科学入門 基礎演習 プロジェクト入門 政策科学特別実習1 FLC 特殊講義 Contemporary Issues in Policy Science I・II	Academic Workshop Introduction to Social Sciences I・II EPS Project I・II EPS Special Seminar I・II Research Workshop など	研究実践フォーラム I・II オンライン調査演習 政策科学特別実習2 Field Research Work Shop Policy Studies I・II EPS Project III・IV など	政策構想演習 III 学士論文 EPS Project VII

- 上記は2022年度のカリキュラムです。
- 学部の専門科目とは質的に異なる、幅広い分野の知識の修得を目指す科目を多数履修することができます。
- 各科目分野において、特殊講義が開講される場合があります。

科目についての詳細は [オンラインシラバス](#) [立命館](#) [検索](#)

## 外国語の選択

[必修 (EPS)] : 英語  
[必修選択 (LGA)] : 中国語 / 韓国語 / タイ語 / インドネシア語 / ベトナム語 / ドイツ語 / フランス語 / ロシア語 / スペイン語 / イタリア語 から一言語



詳しくはこちら ▶

## [2022年度 教員・研究テーマ一覧]

飯田 未希	消費文化とジェンダー・セクシュアリティ
石原 一彦	持続可能な都市形成とまちづくり
稲葉 光行	学習コミュニティと情報技術
小田 尚也	途上国におけるグローバルビジネスの展開 II
勝村 誠	東アジアの国際関係をめぐる歴史政策科学
鐘ヶ江 秀彦	Society 5.0 時代におけるスマートシティのプランニング領域に関する研究
上久保 誠人	現実的・学際的に政策に挑む「リアリスティック・ポリシー・サイエンス」
岸 道雄	少子高齢化時代の雇用、賃金と社会保障制度の研究
小杉 隆信	資源・エネルギー・環境のシステム分析
蔡 秀卿	行政法の観点から公共政策課題を考える
桜井 政成	コミュニティ・ウェルビーイングの政策科学
桜井 良	環境問題や教育に関する政策科学
式 玉美子	都市空間と社会に関する政策研究：都市居住における多様な生活スタイルと貧困居住の考察を中心に
重森 臣広	オルテガ「大衆の反逆」を読む

周 瑠生	国際エネルギー環境政策とSDGs
高村 学人	森林法の実施過程の中規模サーベイ調査
田林 葉	文化研究と研究成果の国際発信
西村 陽造	国際金融に関する政策研究
服部 利幸	政府と企業
平岡 和久	新しい時代の地方自治と自治体財政研究
藤井 禎介	現代の政策課題と政治理論
藤原 智栄美	多言語・多文化社会におけることばとコミュニケーションの問題に迫る
舟橋 豊子	企業のグローバル・マーケティング
宮脇 昇	平和と安全保障の政策科学
森 隆知	情報システムの構築およびその活用に関する研究
森 裕之	自治体財政と都市政策
森 道哉	戦後日本の行政と政治
安江 則子	グローバリゼーションをめぐる政策課題
吉田 友彦	都市空間から考える都市政策論

## Message / 卒業生からのメッセージ

ワークライフバランスの実現をめざして公務員を志望。大学で養ったスキルは仕事の充実にも直結しています。

公務員を志望していた私にとって、立命館大学の環境は理想通りでした。公務員分野の学びを優先できる「行政政策プログラム」に登録、財政学・政治学・民法・国際関係・社会政策の基礎をマスター。少人数クラスで短期間に集中して受講できる夏季講義では、政策の評価方法を習得する「政策評価」を効率よく学べました。面接対策が充実しているエクステンションセンターもフル活用。めざす進路を実現できました。資産課税部門に勤務する今も、大学で身につけたスキルが役立っています。相続税の調査事務では目上の方との「対話力」が求められ、申告の相談や指導などでは納税者への「説明力」が必須です。この対話力や説明力は公務員養成プログラム「立命館霞塾」のグループワークやディスカッションで養いました。今後はさらに高度な知識やスキルを身につけつつ、ワークライフバランスを実現させることが目標です。



甲斐 悠梨奈さん

大阪国税局 兵庫税務署 資産課税部門  
(政策科学部2018年卒業)

2014年、政策科学部入学。公務員分野の学びを優先できる「行政政策プログラム」に登録し、公務員養成プログラム「立命館霞塾」を受講、エクステンションセンターも面接対策などに活用した。2018年、大阪国税局に採用され、葛城税務署管理運営部門に配属される。2019年、同署資産課税部門に配属。2021年からは兵庫税務署資産課税部門に勤務している。

多彩な国籍や年齢の人々との出会いがあった学生時代。IT企業で自らを磨き、国家レベルの仕事にも挑みたい。

現在は、大手メーカーのアカウント営業を担当。業務効率化、生産性向上など、お客様経営課題の解決に向け、NECのAIやIoT技術を駆使して幅広い提案を行っています。大学では、留学や海外交流活動に挑戦する他、「グローバル人材養成プログラム」という学部横断プロジェクトに応募し、多国籍メンバーと企業の経営課題解決に取り組みました。仕事で大きな壁や困難にぶつかる度、文献などから過去の有識者の思考過程を追跡することで、自分の価値観にとどまらず、広く高い視点から課題をとらえ、解決策を導き出すプロセスを踏むことができています。これは、大学のゼミナール活動で身につけた習慣です。国籍年齢問わず幅広いバックグラウンドを持つ方々と交流した経験など、学生時代に培った自分の強みは、今の仕事に生きるだけでなく、国家レベルのITプロジェクトに携わるといった将来への目標にも繋がっています。



岩竹 春香さん

日本電気株式会社 エンタープライズビジネスユニット  
第一製造業ソリューション事業部  
(政策科学部2018年卒業)

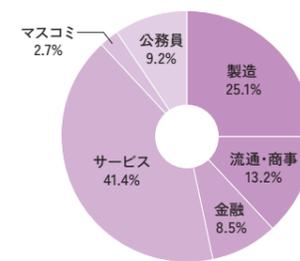
2014年、政策科学部入学。アメリカ短期留学、海外ボランティアサークルでのフィリピン教育支援、グローバル人材養成プログラム、東日本大震災復興支援など、さまざまなプロジェクトや活動に挑戦し、国籍年齢を超えた多くのお会いに恵まれる。2018年、日本電気株式会社に入社。エンタープライズビジネスユニット第一製造業ソリューション事業部に所属している。

## 進路・就職状況

社会人基礎力を身につけ高い就職率を実現。

社会学の学びや多彩な個性との触れ合いで得た幅広い視野と課題発見・解決能力を活かして、多くの卒業生が社会で活躍しています。

[2021年度卒業生 業種別進路決定状況]



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。  
◎端数処理の関係で100%にならない場合があります。

[2021年度卒業生 進路・就職先一例]

国家公務員総合職	大和ハウス工業(株)	富士ソフト(株)
国家公務員一般職	(株)竹中工務店	富士フィルム(株)
国税専門官	(株)椿本チエイン	古河電気工業(株)
地方公務員(上級職)	TOTO(株)	(株)みずほフィナンシャルグループ
アクセント(株)	凸版印刷(株)	三井住友海上火災保険(株)
(株)伊藤園	日産自動車(株)	(株)村田製作所
積水化学工業(株)	(株)日本政策金融公庫	(株)山崎製パン(株)
(株)セブン-イレブン・ジャパン	日本電気(株)	山崎製パン(株)
全国農業(協組連)	日本年金機構	(株)ヤマダホールディングス
ダイキン工業(株)	ニプロ(株)	楽天グループ(株)
大正製薬(株)	パナソニック(株)	(株)LIXIL
(株)ダイフク	(株)日立システムズ	(株)リクルート

(50音順)